

## 令和3年度第3回阿倍野区区政会議でのご意見と対応一覧

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応(回答)	分類
1	R3.12	第3回区政会議	<p>【隣区とも連携した防災対策について】</p> <p>東日本大震災では津波が来るので高台に逃げてくださいと呼びかけられていたが、隣の西成区が海拔2、3メートル、阿倍野区は上町台地の高台にあり、丸山地区が13～15メートルとなっている。いざとなれば、高台をめざして西成区から逃げてくる人もたくさんいると思うので、阿倍野区の避難や防災だけを考えるのではなく、隣区から大量に避難してくることも視野に入れる必要があると思う。(今井委員)</p>	<p>阿倍野区は上町台地の上であり、区としての危機的な要素としては、上町断層地震と南海トラフ巨大地震という2つの大きな要素があると考えています。</p> <p>それぞれに対応した避難の在り方というのは違ってきますので、地域におけるまちなか防災訓練などで企画、立案、運営いただく際にもどちらの想定で防災訓練をするのかを重点課題として掲げ、それぞれ組み立てていただいています。現在はコロナ禍で、残念ながら地域の防災訓練も止まってしまっていますが、2年前までは西成区と隣接をしている金塚、丸山、清明丘地域では、西成区からの避難も想定した避難訓練、いわゆる西成区と連携した訓練を行っています。反対に上町断層などの激甚災害に見舞われたときには、双方が連携して助け合って避難する訓練を行っていました。訓練としては1年半ぐらい止まっていますので、今後、その観点を入れ、訓練の充実をしていかなければならないと改めて感じています。(松下市民協働課長)</p>	回答に記載のとおり	④
2	R3.12	第3回区政会議	<p>【高齢者の運転免許証の自主返納について】</p> <p>高齢者の運転免許証の自主返納について、阿倍野区での状況をお聞きしたい。</p> <p>また、阿倍野区で自主返納された方に対する特典としてどのようなものが用意されているのかを教えてください。(金光委員)</p>	<p>運転免許証の自主返納については、高齢ドライバーの事故防止の観点から非常に有効な施策とも考えており、阿倍野区役所でも阿倍野警察と連携して、自主返納の状況、それに対する特典についてホームページでも公表しています。昨年度で500件弱の返納があったと聞いています。この件については、以前もその有効性について、本区政会議でも度々指摘もいただいていますので、警察と連携して取り組んでまいります。(松下市民協働課長)</p>	回答に記載のとおり	①
3	R3.12	第3回区政会議	<p>【ヤングケアラーについて】</p> <p>ヤングケアラーについて、学校のケースワーカーさんに学校の問題を相談するのであれば良いが、家の愚痴を学校のケースワーカーさんには言いにくいと感じている子どもたちも多いようなので、相談というよりも、ちょっと愚痴を聞いてもらえるような窓口が阿倍野区の中にもあればと思う。(金光委員)</p>	<p>ヤングケアラーの相談窓口を開設していますというお知らせを12月3日にホームページで公開しており、区役所3階の子育て支援担当で相談をお受けしています。平日は5時半まで、金曜日は夜7時まで開設しています。また、電話でもご相談をお受けしていますので、お気軽にご相談いただけますようお願いいたします。(伊村保健子育て担当課長)</p>	回答に記載のとおり	①

[分類]

- ① 当年度(3年度)において対応
- ② 4年度に対応予定
- ③ 4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④ その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応 (回答)	分類
4	R3.12	第3回区政会議	<p>【ヤングケアラーについて】</p> <p>ヤングケアラーの中にはつらい思いをしていると思っていない子どももたくさんいると思う。例えば、おじいちゃん、おばあちゃんが大好きで、いろいろケアするのは当たり前で苦にも思っていない。でも、その事で学校を休みがちになったり、クラブは諦めるとかで、ヤングケアラーの状態になっていることを本人が気付いていない子どももたくさんいると思う。その中でどのようにして早期発見、早期対応していくのか、例えば子どもにアンケートを取るなど、具体的な内容を教えてほしい。 (本庄委員)</p>	<p>区としては、子ども達の変化などについて、子ども達が多くの時間を過ごす学校の先生方が気付きを拾い上げる仕組みとしてこどもサポートネットがあり、学校と連携して会議を行い、課題のある子どもについて共有し、何か支援につなぐ必要があれば、区役所と連携して行っています。</p> <p>児童虐待についても専門員を配置し、こどもサポートネットとは別の観点で2か月に1度、学校などを回り、変化のある子どもの状況を聞き取るなどしています。本市としては、調査票を中学校へ配送し、実態調査を12月24日までに実施するよう進めています。</p> <p>子ども達に情報を知ってもらい、こういう状況がヤングケアラーですよという気付きができるよう、区としては今後、どういった周知の方法があるかも含めて考えて取り組んでいきます。本格的には来年度からの実施となりますが、現時点では、先ほどの相談窓口の開設をホームページとTwitterで広報したという段階です。 (伊村保健子育て担当課長)</p> <p>ヤングケアラーというのは、実態調査を続けていますが、本人がヤングケアラーであるという認識が乏しいということもあり、また、気軽に相談できる場所を作ってほしいとのことで、区役所の子育て支援室にも窓口を設けていますが、学校の中でも相談しやすいようスクールカウンセラーも増員しながら、学校内でも受け止めができる場所を充実していくことも検討していますので、そういったことをしっかりと周知してまいります。 (佐藤副区長)</p>	回答に記載のとおり	①
5	R3.12	第3回区政会議	<p>【新たな地域コミュニティ支援事業について】</p> <p>具体的取組4-1-3新たな地域コミュニティ支援事業について、令和4年度の取組内容に、地域活動協議会の活動状況や自律の状況の把握などを通じて、若い世代など幅広い市民参画の促進、新たな担い手の発掘や地域における担い手のスキルアップに向けた支援と書かれているが、現時点で具体的にどのようなことを計画されているのか教えてほしい。 (小寺委員)</p>	<p>新たな地域コミュニティ支援事業は、中間支援組織であるまちづくりセンターを設置し、さまざまな観点からその地域活動を支援するもので、現在も実施している「ほっとカフェ」を通じて、様々な団体、NPO、学校、地域活動に新たな担い手として入っていただける可能性がある方々と、地域の役員に参加していただき、お互いのマッチングで、必要なところを補えないかということで実施している事業です。</p> <p>また、阿倍野区内10地域が実施している様々な特色を持った活動をご紹介することで地域の強みや良さを各地域にも展開できるよう実施している地域活動フォーラムのような事業を委託し、まちづくりセンターが企画実施しています。 (松下市民協働課長)</p>	回答に記載のとおり	④
6	R3.12	第3回区政会議	<p>【運営方針のプロセス指標の取り方について】</p> <p>運営方針の各種取組みのプロセス指標で、アンケート実施の結果を指標としているものが多くある。今回初めての参加なので、どういった年代の方から聴取したアンケートなのか分からないが、決められている目標値をめざしていくにあたり、実際にアンケートを取った対象の年代が偏ってしまえば違った結果が出てくるし、その違った結果を基にして目標の達成率が進んでいる、進んでいないというジャッジをするとなると、違った方向に行ってしまうのではないかと疑問がある。</p> <p>アンケートの手法がどういうものなのか、また、アンケートを幅広い年代の方から聴取しているのかを教えてほしい。 (高橋委員)</p>	<p>アンケートについては、様々な種類があります。区の事業として実施している区民モニターアンケートでは、経営課題ごとの取組項目の指標に基づき、住民基本台帳から無作為に抽出した2,000名の区民にアンケートをお願いしています。回答率は4割前後であり、年齢もご指摘のように偏りは若干あります。これにより、それを丸々指標にするわけではありませんが、参考として他のものも総合的に判断しながら指標として使用しています。</p> <p>また、大阪市の部局が同じような形で住民基本台帳から無作為に抽出して実施している大阪市全体のアンケートもあり、同じような考え方で実施しています。</p> <p>アンケートでは、高齢者の回答率が高く、若い方は少し低いという傾向があります。そのような中で、今年度からオンラインを活用してインターネットでも回答いただけるよう工夫をしており、若い方の回答率を少しでも上げていくよう取り組んでいます。 (土肥区政企画担当課長)</p>	左記のアンケートとは別に、イベントなどの事業に参加していただいた方にアンケートを実施しているものもあります。	④

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応 (回答)	分類
7	R3.12	第3回区政会議	【アンケートについて】 私個人の見解にもなってしまうが、一般的にアンケートにお答えいただいた方がすべて本音でしゃべっているのかというのは甚だ疑問があり、どうしても表面的なところしか見えてこない面があると思う。定数指標の目標を達成している、していないだけに問わず、実際に取ったアンケートの中で区政に対して厳しいコメントが入っているところにこそ、住民が本来求めていること、区に対してやってほしいことが書かれていて、課題を解決するヒントが眠っている思うので、そういったところもピックアップしてほしい。 (高橋委員)	区民モニターアンケートでは、数字に丸を付けるアンケートに加えて、記述式のアンケートもあり、書いていただいた内容は各担当へも共有しながら取組みを進めています。 (土肥区政企画担当課長)	区民モニターアンケートの自由記述でいただいたご意見は、報告書に掲載しています。報告書は下記の区ホームページで公開していますので、ご参照ください。 <a href="https://www.city.osaka.lg.jp/abeno/category/3413-5-3-2-5-0-0-0-0-0-0.html">https://www.city.osaka.lg.jp/abeno/category/3413-5-3-2-5-0-0-0-0-0-0.html</a>	①
8	R3.12	第3回区政会議	【YouTubeでのコメントへのリプライについて】 具体的取組5-1-2区政情報の効果的な発信で、ホームページ、SNS、YouTube動画の毎月発信と書かれている。私も阿倍野区役所のYouTubeはチャンネル登録して見ているが、発信のみであって、コメントを出しても、リプライ(返信)がない。ということは、区役所からの一方通行と受け止められかねない。親近感を感じてもらうには、手間はかかるが、なるべくそのコメントを返すということを考えてほしい。 (東野委員)	おっしゃるとおり、行政としてなかなかリターンができていないという状況です。何が出来るかを取組み方法等を含めて検討させていただきます。 (土肥区政企画担当課長)	YouTubeを含めたSNSは各問合せ先フォームなどとの差別化のため、コメントには個別返信しないこととしていますが、親近感を持っていただくためにも、期間を限定して特定の動画でコメント募集をしてコメントを返す、Twitterで実施しているようなアンケートをするなど、双方向性のある企画を行うことも含めて検討してまいります。	②
9	R3.12	第3回区政会議	【LINEでできる手続きについて】 LINEで窓口の混雑状況を知らせたり、手続きができることとことだったが、マイナンバーカードを使えばコンビニでできる手続きとそのLINEでできることというのは、また別物でしょうか。 (金光委員)	住民票の写しの交付請求がコンビニなどでもできるというのはこれまでもあります。先ほど、新たなこととしてご説明した点は、LINEのチャットボット機能を使った窓口案内で、キーワードを入力すると、この窓口にお問い合わせくださいと表示されるものを作っており、年度内にはみなさまにもお使いいただける形で発表させていただきたいというのが1点です。 もう1つは、区役所にお越しいただく来庁者の待ち時間を短縮できるよう、インターネットで事前に順番を取る、さらに進めると日時まで予約できるシステムを検討しています。すでに社会に出ている機能を活用しながら、一部の窓口から、新年度ぐらいか、もう少し早くできればと思っていますが、試していきたいと考えています。 (山田区長)	コンビニで住民票の写し等を取得する場合は、個人情報を取り扱うためマイナンバーカードが必要になります。 令和4年1月31日から新たに導入する事前予約ができるシステムや、同年3月1日から新たに運用を開始する予定のLINEを利用した窓口案内は、個人情報を取り扱わないためマイナンバーカードの必要はなく、インターネットを活用していただくことで、みなさまが利用できる仕組みとなっています。	④
10	R3.12	第3回区政会議	【住みます芸人について】 各区に住みます芸人がおり、阿倍野区ではピコーン！さんがいる。芸人さんのスケジュールなどの問題はあと思うが、素人や区役所の職員が慣れないトークをするよりも芸人の方が面白くしゃべって、みなさまに親近感を感じてもらえると思うので、なるべくこの方たちをイベントなどで活用していただければと思う。 (東野委員)	住みます芸人は、吉本興業と大阪市が包括連携協定を結んでおり、ピコーン！は阿倍野区と連携しているいろいろな取組みをしています。引き続き、ピコーン！とは連携を図りながら取組みを進めていきますが、地域にも出向いて、司会やネタもしていますので、地域でもご活用いただければと思います。区役所の区政企画担当にお申し込みいただきましたら日程調整のうえ、活用していただくことができます。 (土肥区政企画担当課長)	住みます芸人は地域の一層の活性化のための制度ですので、今後も区役所で積極的に活用していくのはもちろんのこと、制度の広報周知や申請方法の簡易化など、地域でもより一層活用していただけるように努めてまいります。	②

[分類]

- ① 当年度(3年度)において対応
- ② 4年度に対応予定
- ③ 4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④ その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応 (回答)	分類
11	R3.12	第3回区政会議	<p>【「ウィズコロナ」という表現について】</p> <p>資料43ページの運営方針概要版にウィズコロナという表現がある。ぱっと見たときに、直感的には「えっ、コロナと共存」と思った。どのような印象になるかは人それぞれだと思うが、この資料を見たときにはもう堪忍してほしい、マスクなしで話せる、そういう社会が早く来てほしいというのが率直な思いだったので、ウィズコロナという表現で良いのかと思った。(今井委員)</p>	<p>運営方針自体にはウィズコロナという表現を入れていませんが、概要版で運営方針の構成を説明するページで横串として使っています。緊急事態宣言が10月から解除になり、行動が制限されていたものが段階的に緩和され、様々な活動が再開しているという点は良い点だと思いますが、今後、仮に感染が再拡大となったとしても、元に戻るのではなく、あらゆることを行っていくには、基本的な感染対策を行いながらというのが前提だと考えていますので、あくまで、令和4年度にふさわしい言葉ではないかという思いで、運営方針の概要版に入れさせていただいたものです。(山田区長)</p> <p>コロナの中でも、様々な行政の取り組み、また、地域のみなさまが行っていたいいる取り組みを少しでも良い形で展開できるよう努めるのが行政の役割であり、コロナがもうたまらない、堪忍してほしいというのは行政も同じ思いですが、ウィズコロナという言葉を使わせていただいています。また、コロナ禍でもやるべきことはしっかりやっていきたいと思いますので、みなさまのご協力をお願いします。(佐藤副区長)</p>	回答に記載のとおり	④
12	R3.12	第3回区政会議	<p>【電話相談窓口について】</p> <p>阿倍野区とは関係ないかもしれないが、先月、どこかの新聞で、コロナの影響を受けていて、どこかに愚痴を聞いてほしい場合の電話窓口が大阪市の中にあるという新聞記事を読んだ記憶があるので、もし知っていたら教えてほしい。もしそれが遅い時間までやっていれば、阿倍野区役所の開庁時間が終わってからも、そこで聞いてもらえるのではないと思う。(東野委員)</p>	<p>本市には相談窓口がたくさん設けられていますので、コロナに関することとこととで回答はできませんが、子どもを対象としては教育委員会でもLINE相談、教育に関する相談もあります。ホームページで様々な窓口を公開していますので、お調べしてお答えします。(伊村保健子育て担当課長)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、不安やストレスを感じている方にご利用いただける大阪府の電話相談・SNS相談(LINE)をご案内します。</p> <p>・新型コロナころのフリーダイヤル 0120-017-556 土日祝日・年末年始を含む毎日9時30分から17時まで</p> <p>・LINE公式アカウント名 大阪府ころのほっとライン新型コロナ専用 毎週水・土・日曜日17時30分から22時30分</p>	④
13	R3.12	第3回区政会議	<p>【上町断層帯地震による被害想定について】</p> <p>上町断層帯地震による被害想定について？ 阿倍野区民数約11万人から死者数157人、避難者総数12185人は少ないと思うが、数字の根拠？ (北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>上町断層帯地震による被害想定は、大阪府自然災害総合防災検討委員会における考え方に基づくもので、大阪市内における数値を抜粋しています。</p>	④
14	R3.12	第3回区政会議	<p>【コロナ禍における避難方法について】</p> <p>コロナ禍における避難方法の概要？ ○方法のポイントが見えない ○実現のための問題点は何かとと思っているのか？ (北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>コロナ禍における避難については、感染拡大防止のため、居住スペースの間隔を取り、避難していただく必要があることから、分散避難についても検討していただくよう令和2年7月から区ホームページや広報紙などで区民の方へ啓発を進めています。</p>	④
15	R3.12	第3回区政会議	<p>【防災について】</p> <p>防災についての基本姿勢 水も止まるガスも止まる電気も止まる。ごみ回収もない。サバイバル(文明の恩恵を十分に享受しがたい状態)に近い環境にみんなが置かれる。 都市では、公助に時間を要する点をハッキリ言うべき。 その視点から「自助」意識を高める工夫や補助を願いたい。これが一番。 都市での「共助」は「公助」をも担うことになる。ここにも補助を強くすると地域のアイデアが活かされる。 また「自助」の支援や補助から、本気になる人が増えるため「共助」につながる。 こんな状況の防災リーダーとは？(情報共有・伝達が中心では？) 情報伝達の訓練をするのが一番必要では？ リーダーの行動力も大事だが、それより判断力の方が必要ではと考える。 (北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>自助・共助の大切さや災害時に公共機関が機能しないことなどについて、広報紙や区ホームページで啓発を進めています。 災害時における情報伝達は重要であり、各地域とMCA無線機やLINEを活用した情報伝達訓練を実施しています。 従来、各地域では、地域活動協議会補助金等を活用し、まちなか防災訓練や防災研修等を開催していただいています。今年度はコロナ禍により、地域における各種事業の実施が困難な状況が続いているため、各地域では「自宅で防災訓練！」等の啓発冊子の作成、配布や、災害備蓄品の購入に補助金を活用していただいている地域もあります。今後とも地域防災活動の支援にオンライン等を活用するなど、コロナ禍においても持続可能な方法で取り組みを進めてまいります。</p>	④

[分類]

- ① 当年度(3年度)において対応
- ② 4年度に対応予定
- ③ 4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④ その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応 (回答)	分類
16	R3.12	第3回区政会議	<p>【防災について】</p> <p>まちなか防災訓練、我が家の防災プランなど、災害時に備えた取組みが重要ですが、「公助」の限界、「自助」、「共助」の不可欠という一般的な議論だけでなく、公助の仕組みとその基盤整備をどう進めるか、また、自助、共助、公助の担う意味や役割、範囲を具体的に議論しておく必要があります。意識調査からは、防災・減災の教育の連携した推進の重要性も感じます。(永岡委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>地域の自主防災組織と自助・共助・公助が担う意味や役割について共有を図り、効果的な防災対策を進めてまいります。</p> <p>また、地域・学校・区役所が連携して小中学校の防災教育をさらに充実してまいります。</p>	③
17	R3.12	第3回区政会議	<p>【防災について】</p> <p>令和3年12月だけで、日本中では震度5以上の地震が5回も発生しています。想定される大阪での地震「上町断層地震」・「南海トラフ巨大地震」の被害予想は甚大であります。これに対して、まちなか防災訓練に若年層の参加が少ない。中学生等の若年層への意識向上や訓練を実施する必要があります。と報告されています。ジュニア防災リーダーの養成も永年うたわれていますが、開設以来活動内容が伝わってこない。(当町会にも4名がいましたが何も伝わって来なく消滅の様子)</p> <p>今の中学生・高校生は、毎日遅くまで起きていて土曜日・日曜日は寝ている時間が多い様子。また、多くの家庭は共働きで休みの日はゆっくりしたい。こんなことから、町会離れ・町会役員に成り手がいないとなっています。</p> <p>私の考えは、「女性の登用です」。特に団塊の世代の女性に活躍をお願いしたいと考えています。特筆は、在宅者である事。地域を知っている事。多くの人材がいる事。現職の男性(防災リーダー含む)は職場復帰が求められません。防災リーダー・防災スタッフ向けのDVDを貸与をお願いしたい。防災対策、コロナ禍対策を講じながらスピード感をもって対策をお願いしたい。(久保委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>若年者層のまちなか防災訓練への参加が少ない傾向にあり、参加を促すよう、地域と役割分担して周知の充実に努めてまいります。</p> <p>防災ジュニアリーダーの活動については、コロナ禍において、訓練や研修の実施ができていない状況が続いています。また、登録数も29名と少なくなっていることから、小学6年生にチラシを配付するなど、防災ジュニアリーダーの募集を強化してまいります。</p> <p>地域でのワークショップを行う際に、女性の方の参画をいただき、ご意見を反映した避難所開設運営マニュアルを地域と連携して作成してきました。今後とも、若年者層や女性を含めた多様な方々のご意見を防災対策に取り入れてまいります。</p> <p>また、地域防災役員等への研修やDVDの上映など、各地域の実情に合わせた研修メニューを各地域と連携して検討してまいります。</p>	④
18	R3.12	第3回区政会議	<p>【防災ジュニアリーダーについて】</p> <p>防災ジュニアリーダーの現在の登録数？(北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>防災ジュニアリーダー登録数は、29名です。(令和3年12月16日現在)</p>	④
19	R3.12	第3回区政会議	<p>【登下校時の見守り活動について】</p> <p>防犯：区役所「地域みまもり隊」と職員数？</p> <p>地域の人が見る目は無いよりはマシ程度。録音を流しながら自転車や自動車地域をただ通過しているだけ。人件費が抑えられるボランティア活動なら仕方ないと思えるが失礼を承知で申し上げれば、公務員の余剰人材の人員削減できないから、無理やり仕事を作り出してやっていますのパフォーマンスに見える。</p> <p>児童の登下校の際に、通学路に立っている意識の高い地域住民は、暑さ寒さ晴天・雨天にかかわらず「見守り活動」を展開している。</p> <p>申し訳ないが、役所の「地域みまもり隊」は本質から違っていると何年もまえから感じている。</p> <p>この「人件費」「経費」算出をしてみれば判明するはず？</p> <p>合理性からは定点見守り活動が重要。。。今の「人件費」「経費」分を地域に配分するほうが税金の使い方としては合理性がある。</p> <p>また、通学経路を確定することが合理的にも重要。(北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>地域みまもり隊は、下校時の見守り活動、防犯パトロールのほか、各地域会館等での特殊詐欺、防犯にかかる出前講座の実施、幼稚園、小学校等での交通安全教室の実施、放置自転車、路上喫煙対策関係の啓発、特定空家の日々の状況確認や広報掲示板の日常点検や掲示物の更新等、さまざまな事業に取り組んでいますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。</p> <p>引き続き、見守り活動、啓発活動に取り組んでまいります。</p>	④

[分類]

- ① 当年度(3年度)において対応
- ② 4年度に対応予定
- ③ 4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④ その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応 (回答)	分類
20	R3.12	第3回区政会議	<p>【防犯について】 防犯対策・阪南地域ではこの1~2年「ひったくり事件」で地域の防犯カメラを見る事案がありませんでした。今の主流の犯罪は「還付金の振込詐欺」。毎月の「阿倍野警察交番だより」で報告されていますが被害件数・被害額は多大であります。高齢化社会、高齢者の一人住まいの方・近所付き合いが希薄な方・認知症の方等犯罪被害を受けそうな方が多くおられます。被害防止の広報の100点満点はありません。注意喚起を「広報あべの」で継続的に発信をお願いしたい。(相手はプロ集団です。仕事として毎日電話をしています) 阪南地区もポスター・回覧チラシ・チラシの高齢者宅へ全戸配布をしていきます。 (久保委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>特殊詐欺の多発につきましては、区役所としても認識しており、広報紙等におきましても注意喚起をしています。また、各地域にて実施されています100歳体操等の中で時間をいただき、直接的にも啓発を行っています。引き続き、各地域へ周知するとともにあらゆる機会を見出しながら啓発をしてまいります。</p>	①
21	R3.12	第3回区政会議	<p>【高齢者の運転免許証自主返納について】 他区の話で申し訳ありませんが、運転免許を返納した高齢者に対して、その地区の役所から「どっこい券」というクーポン券が発券されているとのことで、そのチケットでその地区の作業所が運営している喫茶店を利用されたというお話を聞きました。 それで、同じようなポイント制度が阿倍野区にもあるのかなど気になりました。 交通事故をなくす運動を語るうえで、高齢ドライバーの問題は避けて通れない問題かと私は感じております。 (金光委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>大阪市が実施しているポイント制度等の特典はありませんが、大阪府警の特典につきましては、日常のお買い物や飲食の割引などがあり、下記の区ホームページでも公開しています。 周知、啓発活動については、阿倍野警察署と連携し、引き続き実施してまいります。 <a href="https://www.city.osaka.lg.jp/abeno/page/0000529890.html">https://www.city.osaka.lg.jp/abeno/page/0000529890.html</a></p>	④
22	R3.12	第3回区政会議	<p>【自転車の交通事故について】 自転車の交通事故・小・中に加害者になるという視点からの注意喚起は？ (北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>小・中学生への交通安全教育については、区役所と警察が連携して実施しており、小学生の高学年(5・6年生)には、交通安全教室で自転車の通行ルールの啓発と合わせて自転車事故の加害者になる視点も内容に含め実施しています。また、中学校では、交通安全講習の中で自転車事故の加害者になる視点も内容に含めて実施しています。</p>	①
23	R3.12	第3回区政会議	<p>【ヤングケアラーについて】 ヤングケアラーの検出はかなりハードルが高いように私も感じています。 本人に自覚がないということもあるでしょうし、周囲から「ヤングケアラーに該当するのではないかと指摘されることで 心を硬くしてしまうということもあるかと思うんです。どういう状況を「ヤングケアラー」というのか、どこで、どんな支援を受けることができるのかを 身近なところで目にする機会を広げることも大切なのではないかなと思いました。 例えばTwitterなどで「頑張りすぎてないかな？」など共感から気付いてもらえるような文言を掲載し、自ら該当するのかもしれないと気付くよう仕向けるとか、高校生でも遠慮なく「こども食堂」が利用できるんだと知ってもらうよう誘導するなど。 どうしても「こども食堂」は小学生だけが対象のような印象があります。 (金光委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>ヤングケアラーの支援に向け、本市では副市長をプロジェクトリーダーとする、「ヤングケアラー支援に向けたプロジェクトチーム会議」を立ち上げ、令和3年12月23日には、第3回目の会議を開催したところです。プロジェクトチーム会議においては、国の連携プロジェクトチームの報告や国の取組みが共有され、各関係者の気づきの感度を上げ、気づきから支援につなげていく流れの構築に向けた対応を進めています。 早期発見・把握の取組みとしては、市立中学校教員、こどもサポートネット関係職員、民生委員児童委員等への動画配信型研修を行い、また支援策の推進としては、1人1台学習用端末を活用した相談体制の充実を行い、来年度には、その機能拡充を予定しています。区役所においては、相談窓口の明確化を行い、来年度から集中取組を行う社会的認知度の向上について準備を行い、ヤングケアラーであることが悪いことだと受け止められないようにすること、また、課題があるのは、子どもたちが家族の世話や介護をしていることではなく、それが過度な負担となって勉強に支障をきたしたり、子どもらしい生活が送れなかったりすることだと伝わるよう各関係機関と連携し、周知してまいります。 なお、こども食堂につきましては、常盤地区の「トキワの森」や清明丘地区の「みんなの食堂」など、高校生も参加していただけるものもあります。下記の大阪市社会福祉協議会ホームページでは、地域こども支援ネットワーク事業として、こども食堂・学習支援をはじめとするこどもの居場所づくりの活動をご紹介します。 <a href="https://www.osaka-sishakyo.jp/project/child-network/">https://www.osaka-sishakyo.jp/project/child-network/</a></p>	①

[分類]

- ① 当年度(3年度)において対応
- ② 4年度に対応予定
- ③ 4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④ その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応 (回答)	分類
24	R3.12	第3回区政会議	<p>【地域福祉の推進について】</p> <p>めざす成果及び戦略3-1の推進について、コロナで疲弊した生活の支援は、複合的な要素が増えているので、多機関の連携ときめ細かな相談体制の構築が必要です。地域福祉計画の推進は、他都市の先進的な例も参考にして議論できたらと思います。 (永岡委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>複合的な課題を抱えた方を適切な支援につなげるため、つながる場(総合的な支援調整の場)が、より成果をあげることができるよう、ノウハウを蓄積しながら、各相談支援機関及び区役所内各担当との連携強化に取り組んでまいります。</p> <p>阿倍野区地域福祉計画について、部会等でその進捗に関する情報交換、課題集約を行う際は、他都市の先進的な事例もご参考いただけるよう、情報収集にも努めてまいります。</p>	① ②
25	R3.12	第3回区政会議	<p>【支えあう地域づくりについて】</p> <p>経営課題3 支えあいの町づくりは行政の戦略が必要だと考える。「町会」組織は地域の行政への協力意識高く、組織的に活動できる。事実上の行政の業務下請けと言え、一方で「町会」組織は、自由参加・ボランティアの組織という矛盾を持っている。社会の変化で「個人の自由・権利」が大きく取り上げられる今、傾向としては、「町会」が消滅していく方向にある。</p> <p>※現在のボランティア意識の高い高齢者層が引退していけば今の「町会」組織が消滅する。 今の「町会」組織が消滅すると、「めざすべき将来像」の支えあいは「個人の問題」となって真逆に向かう。</p> <p>限られた人材の行政組織で「めざすべき将来像」を達成するための基礎は、「町会」という自治会組織をどう育てるにかかっている。美辞麗句を盛り込まれた啓発の文面では動かない。「笛吹けど踊らず」となる。</p> <p>また、行政の予算で活動している「社協」や専門スタッフなどを利用して、区が設定した「事業」の展開で「めざすべき将来像」にあわせている方向にあると言えるが、これでは根本的課題の「地域ネットワーク」づくりには限界がある。</p> <p>地域住民のほとんどが参加する阿倍野版「地域ネットワークとしての町会」をつくりあげることが「めざすべき将来像」を達成することにつながっていくのではと考えるが、まずは現存の町会の継続の問題(先に述べた、このままでは消滅)を小さいことから、まさに「協働」しないと行けない。この「協働」については、役所のリーダーシップで「育てる＝支援と知恵」が必要だと思っています。 (北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>「阿倍野区に暮らす、すべての人々が住み慣れた地域で、人として尊重され、お互いが支えあい、自分らしくいつまでも安心して暮らせるまちづくりを進めていくためには、地域のつながりの基礎となる自治会・町内会の活動はなくてはならないものと考えています。</p> <p>日頃の見守り等のボランティア活動についても自治会・町内会のご協力が大きな力になっています。</p> <p>引き続き自治会・町内会単位の活動や加入促進について、広報紙や区ホームページ、Twitter等による周知など、地域活動の活性化に向けた支援に取り組んでまいります。</p>	①
26	R3.12	第3回区政会議	<p>【新たな地域福祉活動の支援について】</p> <p>令和4年度の阿倍野区運営方針(素案)において、区政会議意見を取り組み内容に積極的に取り入れていただき、ありがとうございます。</p> <p>経営課題2のヤングケアラーへの取組みや、経営課題3の「地域福祉計画の推進」の項目が追加され、また、3-1-1の「みんなで支えあう地域づくり」でも、『コロナ禍で地域でのつながりづくり、要援護者の社会参加の場作りが困難な状況にあるので、新たな発想と取組みが必要』との意見を受けて、「新たな活動への支援」が追加されました。阿倍野区内の支援が必要な方々への取組みがより一層推進されると期待します。</p> <p>「新たな活動への支援」の具体的な取組みについては、誰もが地域の中でいきいきと自分らしく活動できる場を創造できるよう、できるだけ当事者の方々の声を聴き、中心に据えた支援を進めていただきたいと思います。</p> <p>例えば、区内で認知症の人の本人会議等を定期開催し、当事者の方々とおし、また、支援者と交流して話し合うことで、想いを具現化できる活動や取組みの新たな発想が生まれてくる。そして、その発想を経営課題4の地域の活動支援事業ともリンクすることで、地域の新たな担い手や、企業や他団体との連携等によって、阿倍野区全体や各地域での新たな取組みを創造する活動が進むのではないのでしょうか。 (中村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>「新たな活動への支援」を進めていくにあたっては、当事者のご意見をお聞きし、そのニーズを把握することがきわめて重要であると考えています。</p> <p>区社会福祉協議会(「区社協」)と連携し、様々な機会をとらえて区民のニーズや課題の把握に努め、必要なサービスや支援の創出に努めてまいります。</p> <p>その一環として、区社協では、大阪市から受託した生活支援体制整備事業の中で、これまでの老人福祉センターでのサークルへの申込状況をふまえ、地域でスマートフォンの操作方法を教えるボランティア養成講座の募集を行う予定です。</p> <p>具体的に取組みを促進するためには、地域住民、ボランティアやNPO、社会福祉施設や民間企業等との情報共有・連携していく必要があると考えており、区社協とともに地域との関係づくりに取り組んでまいります。</p> <p>認知症の方への新たな支援については、認知症カフェ等の場を活用しニーズの把握に努め、認知症地域支援推進員(認知症強化型地域包括支援センターに配置)とも連携して検討し、部会でご議論させていただければと考えています。</p>	① ②

[分類]

- ① 当年度(3年度)において対応
- ② 4年度に対応予定
- ③ 4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④ その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応(回答)	分類
27	R3.12	第3回区政会議	【健康づくりについて】 めざす成果及び戦略3-2の健康づくりのところには、資料93ページの感染時の応援体制のことも含めて、区としての医療、保健体制、情報提供などの面が含まれるといいのではと思います。 (永岡委員)【ご意見シートによる意見聴取】	→(事後シート)→	新型コロナウイルス感染症対応やワクチン接種に関しては、大阪市全体の方針に従って役割分担された疫学調査や感染予防対策に努めており、区独自の取組みを行うものではないことから、区運営方針への記載はしていませんので、ご理解をいただきますようお願いいたします。	④
28	R3.12	第3回区政会議	【運営方針の全体を通じた意見について】 全体を通して課題解決の文面の中に様々なところに「…支援します。」と記載されている。 裏返して見れば、「行動するのは、あなたたち地域住民です。」ということ、美辞麗句に書かれています。 人材も限られる区役所としては、仕方がないとは思いますが、「一緒に知恵を絞る」という姿勢と、先に述べた今の「町会」組織が消滅する前に組織作りの知恵と支援から取り組んでもらえたらと考える。 広報紙あべのに「町会に入りましょう」の文言掲載は、記載の意味は大きく、以前の「自治会」と一線を画す路線からは前進したが、この程度で、人は動かない。 (北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】	→(事後シート)→	地域のつながりの基礎となる自治会・町内会単位(第一層)の活動を、広報紙や区ホームページ、Twitter等での周知を行うことにより、地域活動の活性化及び、様々な活動主体と地域との連携・協働を促進しています。 また、広報紙令和3年1月号から10月まで、毎月1地域ごとに各地域の活動について掲載させていただきました。 自治会、町内会(第一層)を含めた地域活動の周知について、引き続き取組みを進めてまいります。 今後とも、広報あべのにおいては町会情報を含めた、区民の方・地域の方に伝えるべき情報・必要とされている情報を、わかりやすく伝えられるよう努めてまいります。	① ④
29	R3.12	第3回区政会議	【新たな地域コミュニティ支援について】 具体的取組4-1-3の新たな地域コミュニティ支援事業は、コロナの経験をどうふまえるか、若い世代の生活課題、生活意識と結びつけて参加しやすくするか、大学機関などとも連携してアンケート調査されるといいですが、市全体ではあるでしょうか。 (永岡委員)【ご意見シートによる意見聴取】	→(事後シート)→	大阪市では、無作為に抽出した18歳以上の区民に対し、地域活動に関する区民アンケートを実施し、各種事業の参考にしています。 阿倍野区においても、令和3年度は「学生と地域の関わり方について、世代を超えて話し合う“地域活動フォーラム”」や、「地域活動について、先生や学生、地域と行政が考える“次世代と考える防災”」を開催し、コロナ禍の状況もふまえ、若い世代も地域活動に参加、参画できるきっかけとなる事業を開催しています。 今後も、学生等の若い世代が地域活動へ参画できるような事業を開催してまいります。	④
30	R3.12	第3回区政会議	【あべのブランドについて】 あべのブランドとしての魅力資源には、どうしても歴史的建造物などの景観資源が大きいように感じますが、「王子サーブ」も海外にも誇れる阿倍野発祥の自慢できるものの1つかと私は思います。 そこで、新入生に配布される防犯ブザーに、卓球のラケットを持ったあべのんのシールを貼って配るということを、予算内で可能ならば提案したいです。 (金光委員)【ご意見シートによる意見聴取】	→(事後シート)→	あべのブランドは、現在、区内にある歴史・文化スポットなどの都市景観資源や商店街等の魅力スポットとしていますが、今後新たなコンテンツの追加についても検討してまいります。 また、防犯ブザーにつきましては、大阪府が寄附を受け、各学校へ直接配布されています。そのため、区役所がシールを貼ることはできませんので、ご理解をいただきますようお願いいたします。	④
31	R3.12	第3回区政会議	【花で彩りのあるまちにするための取組みについて】 具体的取組4-2-1で花と緑のあるまちにするための取組みは魅力的です。世代間交流にもなればと思います。 (永岡委員)【ご意見シートによる意見聴取】	→(事後シート)→	今後ともさまざまな世代にボランティアとして参画していただき、区内に花を広げ、花と緑のあるまちづくりを進めてまいります。	④
32	R3.12	第3回区政会議	【情報発信と情報収集について】 単に情報発信だけでなく、透明性の高い情報の発信と幅広い情報収集を行うことで、レスポンスのよい行政となれる。 (北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】	→(事後シート)→	区政会議や各種アンケート調査などを活用し、区における施策や事業について、企画・計画段階でのご意見、その成果にかかる評価に対してのご意見、表面化しにくいものも含めた多様な区民の意見やニーズを的確に把握・情報収集し、施策・事業に反映することに努めています。 今後とも、透明性の高い行政運営をめざし、区民が必要とされている情報の発信に努めてまいります。	①



[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	(会議当日の) 回答	対応(回答)	分類
33	R3.12	第3回区政会議	<p>【あべのんの歌について】</p> <p>高校生くらいの年齢の子にとって、心の故郷の歌の1つに「あべのんの歌」があるようなので、「あべのんの歌」もあべのブランドに推薦したく思います。</p> <p>「小学生の頃、下校時間になると青パトがあべのんの歌を流してた」と、うちの息子は今もサビの部分を唄うことがあります。</p> <p>今も コロナ禍に関係なく青パトが下校時間に「あべのんの歌」を伴って巡回しているのでしたら、たいへん失礼しました。個人的に最近では耳にしたいないので、もったいないなあと感じています。</p> <p>卒業式などで、区内の子どもたちは必ず大阪市の歌を歌うため、大阪市の歌をほとんどの子どもたちは歌うことができるようです。</p> <p>なので、幼稚園や小学校で「あべのんの歌」を使って、毎年の運動会のダンスや体操などのプログラムに組み込むように協力してもらうことができたなら、「あべのんの歌」も立派なあべのブランドとして定着するんじゃないかなあと思いました。</p> <p>(金光委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>阿倍野区マスコットキャラクターあべのんのイメージソング「おいで あべのん」は、区ホームページから聴くことができるようにしています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症関連の注意喚起を行う際などは流していませんが、通常は「おいで あべのん」を流しながら青パトでの巡回を行っています。今後も青パトなどで流しながら防犯パトロールをすることに加え、区役所の行事などでも活用してまいります。</p> <p>あべのブランドの新たなコンテンツについては、今後検討してまいりたいと思います。</p>	① ④
34	R3.12	第3回区政会議	<p>【コミュニティバスについて】</p> <p>区役所を拠点としたコミュニティバスの運用がなくなったことは、今も残念に思っております。</p> <p>(金光委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>地域コミュニティ交通の構築につきましては、必要に応じて、交通施策を所管する部局と調整してまいりたいと考えています。</p> <p>また、本市が社会実験として、一部の区で実施している「AIオンデマンド交通」の実績等を注視し、調査研究を行ってまいります。</p>	④
35	R3.12	第3回区政会議	<p>【講演会での音声通訳ボランティアについて】</p> <p>先日私は、区役所で実施された人権講演会に参加いたしました。</p> <p>手話通訳ボランティアさんが配置されていたのは素晴らしいと思いますが、視覚障がい者に対する音声通訳ボランティアの配置がされていなかったことは、残念に思います。</p> <p>パルコープなどの民間団体主催のイベントでは、数年前から視覚障がい者に対しての音声通訳ガイドボランティアさんの配置も浸透しております。</p> <p>今回の人権講演会の中に限って言うと、2パターンの女性の職業はどれだかという質問がありました。通訳ガイドが先に6つの選択肢があることを伝えてくれたのなら、私たちもそのクイズに参加することができました。</p> <p>また、アンケートの代筆も私は依頼できましたが、視覚障がいを持つ私たちにとって、スタッフも透明人間と同じなので、透明人間を捕まえるのが困難のように、他の視覚障がいを持つ参加者はアンケートの代筆を依頼するタイミングもつかめないままに帰宅したようです。</p> <p>聴覚障がい者に対して手話通訳ボランティアさんを配置するように、視覚障がい者も1か所に固めて、音声ガイドボランティアも若干名配置するだけのことなので、手間はそれほどかからないかと思えます。しかも阿倍野区には「フルフルール」というガイドヘルパー事業所があるので、派遣も容易かと思われれます。</p> <p>(金光委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>人権講演会の際に、視覚障がい者の方にお声がけするタイミングなどで至らなかった点があり、ご不便をおかけしたことについてお詫び申し上げます。今後は視覚障がい者の方にもご不便をおかけすることのないよう、職員を配置いたします。</p> <p>また、講演会をお聞きになるにあたり配慮が必要な場合は事前にお申し付けいただくようにアナウンスし、その内容を講師とも情報共有を行うことで、お一人お一人が安心してご参加いただけるよう努めてまいります。</p> <p>このご意見については区役所内で情報共有を行い、皆さまに等しくご参加いただけるよう努めてまいりますので何卒よろしく願いいたします。</p>	①
36	R3.12	第3回区政会議	<p>【区役所駐車場について】</p> <p>阿倍野区役所正面(西側)駐車場について、利用者にとって無料になることは大変嬉しいことだと思います。ただ、出入口については歩道を横切らなければならないので、ブザーを鳴らすとかの安全対策をする方が良いのでは。また、裏側の駐車場の出入口も同様だと思うが、いかがでしょうか？事故が起こってからでは遅いので、この際実施すべきかと思えます。</p> <p>(宮本委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	→(事後シート)→	<p>区役所駐車場の安全対策につきましては、建物の構造上、正面(西側)・裏(東側)駐車場とも歩道を横切らざるを得ない構造となっております。</p> <p>この度いただきましたご意見を参考に、今後効果的な安全対策の早期の実施に向けて、研究・検討してまいります。</p>	②